

平成 28 年 1 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社アクトコール  
 代 表 者 名 代表取締役 平井俊広  
 (コード番号：6064 東証マザーズ)  
 問 い 合 わ せ 先 専務取締役 菊井 聡  
 電 話 番 号 0 3 - 5 3 1 2 - 2 3 0 3

### 業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 1 月 14 日に公表いたしました平成 27 年 11 月期 (平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日)の業績予想を下記の通り修正する見込みですので、お知らせいたします。  
 また、同期内におきまして、特別損失を計上する見込みですので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 27 年 11 月期 連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 3,534	百万円 258	百万円 219	百万円 170	円 銭 134.99
今回修正予想 (B)	3,583	596	569	212	168.67
増 減 額 (B-A)	49	338	350	42	
増 減 率 (%)	1.4	131.0	159.8	24.7	
(参考) 前期連結実績 (平成 26 年 11 月期)	2,815	66	73	△1	△1.36

#### 2. 業績予想修正の理由

住生活関連総合アウトソーシング事業につきましては、不動産賃貸市場へのサービス提供に加え、持家市場や、エネルギー市場への拡販に注力いたしましたが、主力の緊急駆けつけ等会員制サービスの会員獲得実績が伸び悩みました。この結果、住生活関連総合アウトソーシング事業における売上高は 1,931 百万円 (前年同期比 7.5%増)、営業利益は 72 百万円 (前年同期は 55 百万円の営業損失) となる見込みです。

また、不動産総合ソリューション事業につきましては、サービスオフィスの契約室数及び利用者の獲得が当初予想を大きく下回る一方、不動産開発プロジェクトとしては、平成 27 年 11 月 20 日付で発表しております「連結子会社における売上計上見込みに関するお知らせ」にありますとおり、原宿駅前の不動産開発プロジェクトの利益の分配として、予想を上回るおよそ 6 億円の売上高を計上しました。この結果、不動産総合ソリューション事業における売上高は 1,205 百万円（前年同期比 79.2%増）、営業利益は 472 百万円（前年同期比 603.7%増）となる見込みです。

家賃収納代行事業につきましては、既存サービスの取扱件数は堅調に推移したものの、新たに組み込んだ新規商材の提携手数料が当初予想を下回ったため、当初予想の売上高・利益を下回りました。この結果、家賃収納代行事業における売上高は 446 百万円（前年同期比 28.8%増）、営業利益は 65 百万円（前年同期比 54.3%増）となる見込みです。

結果として、売上高は、不動産総合ソリューション事業が住生活関連総合アウトソーシング事業及び家賃収納代行事業の当初予想を下回った分をカバーした形となり、売上高の修正額は 49 百万円増となる見込みです。

また、営業利益、経常利益につきましては、不動産開発プロジェクトの売上総利益率が高かったため、結果として、当初予想からの増額分は売上高よりも利益が大きくなっております。

一方、当期純利益は、特別損失の計上と、法人税の税率変更等による繰延税金資産を取り崩した結果、当期純利益の修正額は 42 百万円増となる見込みです。

### 3. 特別損失の計上

不動産総合ソリューション事業の店舗事業における減損等により、特別損失 87 百万円を計上する見込みです。

以上